



52年度決算の認定など 18件を可決



区内の樹木が色づき始めた11月9日から28日までの二十日間、第四回定例会が開かれた。

初日の本会議では、区長招集挨拶が行われたあと、各会派の代表六人が登壇、「代表質問」を行なった。続いて区長から、52年度各会計決算の認定など十六の案件が上程され、うち人事案件一件を議決。残り十五件を担当の委員会へ審議付託した。また10日には、自民三人、公明、共産、社会各二人、民社、無所属・社会民主クラブ各一人の計十一人による「一般質問」が行われた。

最終日の本会議では、13日から25日までに行われた各委員会の審議経過と結果が委員長から報告され、決算に対する各会派の意見が述べられた。その結果、追加案件二件を含む十七件すべてを全員賛成で可決した。

木造住宅から鉄筋住宅への切り替えが進んでいる。今回議決された「中高層建築物の紛争予防・調整条例」は、区民が健全な生活を保てるようにするのが目的の一つだ。写真：小田島 隆、世田谷代田駅、付近より上馬方面への環七通り。

第四回定例会の議決内容

決算特集号 もくじ

- ① ページ 第4回定例会の概要
- ② ページ 決算審議のあらまし
- ③ ページ 決算に対する各派意見のあらまし
- ④ ページ 代表質問
- ⑤ ページ 一般質問
- ⑥ ページ みなさんからの請願ほか

●昭和52年度各会計歳入歳出決算の認定
関係記事は二五ページに掲載
●婦人会館条例の新設
前定例会で婦人会館の買収を議決したのに伴い、施設の内容や事業・使用方法などを規定した。使用料は無料。

●多摩川玉堤広場条例の新設
大田区との境にある多摩川河川敷を、区民の憩いの広場として設置。広場には、少年野球場二面(無料)、庭球場九面(一面・一時間以内平日五百円、土・日・休日八百円)が設けられる。管理事務所は玉堤通りに設置され、平常事務や管理は、大田区と共同でつくる「管理公社」に委託する。

●中高層建築物の紛争予防・調整条例新設
これまでは指導要綱で対応してきたが、都条例が施行されたため、区も条例を新設する。条例は、区が扱う中高層建築物の範囲、区長と当事者の責務を明記。建築主の標識設置、説明会の開催を義務づけている。区長があつせんを打ち切った場合、調停に移行するが、その際、区長は「建築紛争調停委員会」の意見を聴かなければならない。そのほか、関係書類の提出、要請に応じないときの公表などが規定されている。

●区議・区長選挙の選挙公報発行条例新設
4月の統一地方選挙に向けて、候補者の周知をはかるための条例。氏名・経歴・政見・写真等が掲載できるが、掲載文は五百字を超えることはできない。選挙の前日まで、新聞折込み等で全世帯に配布されるほか、出張所などにも置かれる。

●区長の給料特例条例の新設
不祥事件発生に伴い、区長自らの厳しい姿勢を明らかにするため、給料の三割を一カ月減額する。

●区長選挙の立会演説会開催条例改正
班別編成で開催していたが、班別編成にょらなくとも開催できるように改めた。

●自然環境の保護・回復条例改正
国・都の指定が解除になった場合でも、区は指定当時の状態を維持することにした。

●公園条例改正
公園管理者以外で管理する場合の規定を加え、次の新設箇所を追加した。

●玉川台東小緑地 玉川台一丁目9-21
●中町南小緑地 中町一丁目24-9
●名譽区民条例改正
親善などの目的で、区の賓客として来訪した外国人に、特に名誉区民の称号を贈ることができるようにした。

●仮称千歳台小学校新築工事請負契約
工費二億四千万円、工期55年3月10日。鉄筋四階建校舎・二階建体育館・プール等の諸施設。

●仮称下馬図書館新築工事請負契約
工費一億五千万円、工期55年2月15日。鉄筋地下一階地上三階建。

●教育委員の任命同意
貞岡 晴(五十九歳・再任)
●人権擁護委員候補者の推薦

氏名	職名	住所	備考
山口 隆夫	議員	太子町三丁目5-4	再選
東 浩明	議員	北町三丁目9-9	再選
松本 隆夫	議員	上馬四丁目23-3	再選
武田 尚志	議員	高坂二丁目11-7	再選
藤原 久子	議員	高坂二丁目11-11	再選
毛野 久子	議員	大森二丁目11-6	再選
佐伯 修	議員	大森二丁目24-25	再選
金田 賢三	議員	大森二丁目31-3	再選
金子 秀雄	議員	大森六丁目4-1	再選
竹田 守貞	議員	上北沢三丁目24-27	再選
田嶋 隆子	議員	等々力五丁目30-11	再選

- 特別区道路線の認定 四件
- 喜多見四丁目3 延長六八・五〇m
 - 喜多見九丁目18 延長五八・九八m
 - 上祖師谷四丁目38・39 延長一三二・三九m
 - 北島山九丁目25 延長一七八・六〇m
- 報告 六件
- 契約変更の専決処分 三件
 - 傷害等事故の損害賠償額決定の専決処分 二件
- 要望書の提出 一件(別掲)

区長招集あいさつ

区政の信頼確保に最大の努力を



初めに、このたびの学校建築工事をめぐる不祥事についてご報告いたします。

すでに前の本会議でご報告したように、事件発生後、直ちに「綱紀粛正対策本部」を設置し、これまで事後処理にあたってきていたところでもあります。当該職員については、現在なお司直の手で取調べ中であり、本人からの事情聴取ができない状況です。いずれにしても、私たちが自願自戒し、公正な行政を推進するため、本人はもちろん、管理監督者及び私を含めて厳正な処分をいたしたいと考えております。

関係した業者についても、10月23日の「指名業者選定審議会」において、指名停止の措置をいたしました。

今後は、単に非行再発防止といった消極的態度ではなく、区政をめぐるあらゆる環境や機構上の問題点を積極的に追求していく所存です。そして、区民と区政の信頼関係を確固たるものにするべく、さらに広い視野から改善を進めていく考えです。

さて、区政は今、53年度後半を迎えて新しい事業・課題に取り組んでいます。

区民の居住環境を整備し、自然環境を保全し、公害と災害から区民を守ることは、区政の最も重要な課題です。そのために、当区独自の「中高層建築物の紛争予防・調整条例」を制定することにしました。これは、今までの「指導方針」を、さらに内容を整備し、区民の居住環境向上に寄与したものであります。

次に、かねて懸案でありました区議会議員・区長選挙における「選挙公報」の発行に踏み切りました。投票率の低下解消をはかり、区民の参加意識の高揚を進めるためです。私は、この情報により、区民の皆さんが地方自治の重要性をより一層認識され、区政への参加意識を持っていただくならば、区政にとってどれほど価値あるものかばかり知れないものがあると考えております。

52年度決算では、健全財政を維持しながら、諸事業において一応の成果を納めることができました。しかし来年度の区財政見直しは決して明るくありません。予算編成には、限られた財源の有効配分と、適正かつ効率的運営により、区民福祉の維持・増進に努めてまいります。

意見書 要望書

住宅・宅地政策に関する要望書

不況と財政難のため、わが国の住宅建設は国民要望にこたえられない現状だ。世田谷区内でも公営住宅の建設、宅地供給融資を求める声が大きく、建設現場従業員の雇用不安と相まって、区議会へ強い意見が寄せられている。政府は次項の政策を強く推進するよう要望する。①安く住みよい、災害に強い公営住宅の大量建設②公的機関による宅地供給の強力推進と長期計画の策定③借りやすい、返しやすい公的な住宅ローンの拡充。

11月20日提出 11月28日議会報告
内閣総理・大蔵・建設大臣あて

区民のためにお金がどう使われ、どんな成果があったか。52年度の各会計決算が、第四回定例会で全員賛成により認定された。決算の結果は、別表のとおりである。一般会計では、前年度に比べて歳入が8.3%、歳出で7.7%（51年度は11.2%、10.2%）と、いずれも低い伸び率で、依然として厳しい財政状況を示している。しかし、黒字額は九億三千七百万円（51年度は六億七千万円）で、13.5%増とな



効率的な財政運営のために

自由民主党

質問① 低成長経済下でも、区の財政は景気変動の影響を受け難いため、決算の結果は順当だったが、不急の事業への支出も見受けられる。福祉施策での公費負担と受益者負担をどう考えているのか。
答弁 清掃事業など、都の事業の区への移管問題が今後の課題だ。来年度予算の編成方法も一部改めてみた。原則的には応分の受益者負担は当然必要だ。

質問② 町づくりの基礎となる「投資的経費」が減少している。一方、人件費は漸増してきている。現在の事業の見直しを行え。区民の一部しか利用できない区立幼稚園を多額の税金で建設するより、私立幼稚園を育成していい。
答弁 健全財政を保つためには、「投資的経費」を抑えざるを得なかった。他の経費を節約してでも増やしたい。私立幼稚園が長く存続できるように助成していく。

質問③ 保養所や林間学校などの施設が不十分だ。幼児から老人までが楽しめる雄大な区外施設の建設計画を立てよ。
答弁 栗山村も同じ趣旨で検討したが、評判がよくなかった。八ヶ岳付近を来春にも調査したい。地元と交流できれば理想的だ。

公明党

質問④ 文化事業の将来の構想を示せ。「区民健康村」の建設は、事前に十分な計画を立てよ。基本計画と共に「長期財政計画」をつくれ。
答弁 「美術展」や「ブロンズ像の建設」など、文化事業の推進に努めている。美術館もぜひ建設したい。健康村は交通面も考える。財政計画は五年ぐらいいは立てたい。

受益者負担をめぐって 活発な論議

決算審議のあらまし

① 許認可事務に、職員を長期に配置する。区民葬祭場を早急につくれ。不健全図書規制条例の制定はどうか。不健全図書の規制条例の制定はどうか。不健全図書の規制条例の制定はどうか。不健全図書の規制条例の制定はどうか。

日本共産党

質問① 決算上では黒字だが、歳入見込みや区民要望の具体化は適切だったのか。幼児教育は、公立施設の役割を認識し、公私格差を是正せよ。障害児対策も示せ。
答弁 財政運営は良好だった。私立の施設の内容充実にも努め、公私格差を是正したい。障害児対策は専門家にも相談していく。

日本社会党

質問① 当初の歳入見込みをもっと的確に受益者負担について検討すべきだ。人事管理の改善も必要だ。
答弁 当初の歳入見込みをもっと的確に受益者負担について検討すべきだ。人事管理の改善も必要だ。

無所属・社会民主クラブ

質問① 保育園運営に対する区の支出が多い。受益者負担について検討すべきだ。人事管理の改善も必要だ。
答弁 保育園運営に対する区の支出が多い。受益者負担について検討すべきだ。

質問② 来春の区長選挙では、大場区長は全党派の支持を得たが、どう考えているのか。
答弁 従来からの「区民党」の立場を変えずに政策をすすめていく。

民社党

質問① 行政を行うのは職員だ。職員の資質向上をはかれ。障害児対策は、専門家の意見を十分きいて充実していけ。
答弁 まず内部体制の充実にも努める。職員研修の体制はできたので、内容を充実させる。障害者の実態をよく理解していく。



区政を円滑に進めるために

公明党

質問① 契約予定価格の秘密保持は万全か。許認可事務を長く担当している職員を把握しているか。昼休みの窓口開設や名札着用の実施が遅れている。
答弁 秘密保持は守られている。職員配置は年数に限らず個々に対応している。出先機関の窓口は12月に実施したい。名札は窓口開設後に検討していく。

日本共産党

質問① 「地域」をどのようにとらえているか。公共施設の用地確保は、借地も考えよ。答弁 「地域」の定義は難しい。従来は、全体が優先されたが、今後は「地域」も十分考慮していく。借地の方法も検討する。

日本社会党

質問① 工事請負業者の選定に問題点はないのか。区内業者の育成に力を入れ、監査を厳しく行なう。
答弁 新任職員の「区民インタビュー」は好評だった。ボランティア研修も考えたい。不祥事の防止には万全を期したい。

区議会では、自民党十三人、公明党・共産党・社会党各四人、民社党および無所属・社会民主クラブ各二人の委員で構成する「決算特別委員会」を設置、11月14日から七日間にわたって審議を行なった。委員会で、各党派が順次、それぞれの部門別に、区理事者に対して質疑を行なった。紙面の都合で全部は掲載できないが、そのおもなものは次のとおりである。

部門に建築専門技師を配置すべきだ。答弁 「選定委員会」で業者を選定している。区外業者との競争で育成していくことも考えられる。職員のモラルを向上させていく。住民運動のエネルギーを行政に生かしていくべきだ。住民参加をどう考えるか。答弁 多様化する住民要望の中で、住民と行政の一体化をはかるべきだと考えている。参加する住民側にも責任ある態度が必要だ。

民社党

質問① 労務担当や事務管理、文書管理の組織的な充実をはかれ。政策を十分にこなせる専門職を養成せよ。
答弁 組織プロジェクトチームで検討中だ。早く結論を出したい。

無所属・社会民主クラブ

質問① 区内で不用品が多く見受けられる。予算を有効に使え。契約事務や人事管理に十分配慮せよ。広報紙の追跡調査を行え。
答弁 「棚卸し」をしており、不用品はない筈だ。適正人事に努めているが、服務規律をさらに正していく。「区民意識調査」で読者調査をしている。

自由民主党

質問① 「全世帯アンケート」の意図は何か。区長の写真や名前の掲載に問題はないのか。「再開発公社」の設立を考えているか。
答弁 地域の特性を知るための調査だ。写真等の掲載は問題ない。公社設立については現在検討している。

日本共産党

質問① 投資的経費の減少や人件費の増加は、今後の大きな問題点だ。効果の薄い事業の見直しをしていけ。
答弁 財政的な危機感はある。補助金の見直しや施設の有効利用などをほかりたい。

無所属・社会民主クラブ

質問① 福祉の見直しが大切だ。今後の姿勢を示せ。老人大学に大学院を設置せよ。区民農園を、健康増進のため老人に開放せよ。
答弁 福祉の充実には財源確保が第一だ。公私負担の明確化をはかる。一年程度の老人大学の研究科を考えたい。区民農園は好評なので、増設の際に検討したい。

自由民主党

質問① 国保事業の支出金引上げを国・都にもつと要請せよ。
答弁 要請は行なっている。



区民生活の向上のために

質問① 国保事業の支出金引上げを国・都にもつと要請せよ。
答弁 要請は行なっている。

自由民主党

質問① 国保事業の支出金引上げを国・都にもつと要請せよ。
答弁 要請は行なっている。

質問① 全世帯アンケートに福祉部門がないのは疑問だ。庁舎内では身障者への配慮も怠るな。健康な老人の対策も考えよ。

② 保育料未納者には強い姿勢でのぞめ。区立保育園の保育費が国基準より多いが、今後の増額にあたってどう考えているのか。公私格差の是正にどう取り組むのか。

③ スーパーの進出は、小売商店にとって深刻な問題だ。商店育成に力を入れよ。

④ 公共施設の効率的な活用をはかるために、受付体制を改善せよ。区民施設の利用状況や問題点をどう考えているか。

⑤ 零歳児の経費が月十九万円もかかっているが、保育行政の抜本的見直しを行え。保育園の措置基準を見直し、多くの人が利用できるようなはかれ。保育料未納者に対し、その義務をはっきりさせよ。

⑥ 「中小企業近代化資金」の貸付率が低すぎないか。年末融資の対策を考えているか。貸付しに努めているが、企業診断で融資できない場合もある。年末は、運転資金に限り融資していく。



区民の健康と安全を守るために

質問① 井戸の現状調査が不完全だ。再調査せよ。ブロック塀の点検は避難道路と通学路だけだったが、他にも危険箇所がある。

日本社会党

質問② 国の環境基準緩和にどう対処するのか。保健センターの委託事業の状況はどうか。保険請求事務はその後どうなっているのか。関係機関に区の実情をさらに訴えていく。保健センターは、胃ガン検診、健康増進事業が軌道に乗ってきている。保険請求については医師会と話し合っている。

民社党

質問③ 保健センターの事業にもっと力を入れよ。健康増進事業は実施日などを拡大できないか。防災組織を具体的に活動させよ。利用者への便も考えて拡大していききたい。地域ごとの防災活動を考えていく。

無所属・社会民主クラブ

質問④ 保健所を充実し、区民の身近なものにせよ。心身障害児の出席を減らすためにも、母体保護の指導を強めよ。

自由民主党

質問⑤ 避難道路が狭かったり、災害発生時の活動分担を知らない職員がいるのは問題だ。具体的な防災訓練を実施するなど、きめ細かな防災対策を立てよ。

⑥ 保健センターは、十分な人員で適正な事業が行えるよう充実していけ。

⑦ のびのびとした子どもの遊び場が必要だ。今後どう取り組んでいくのか。

公明党

質問⑧ 予防接種を、学校だけでなく一般区民にも実施できないか。

⑨ 自転車置場対策をどう進めているのか。学校を災害時の第一避難所にはできないか。備蓄倉庫や路上消火器の点検は万全か。

質問⑩ 保健センターの進展状況や、今後の

日本共産党

の計画をもっと明確にせよ。これからの保健所のある方をどう考えているか。

② 公衆便所や自転車置場を充実せよ。防災対策は、危険度の高いところから手をつけていけ。

民社党

質問⑪ 下水道の普及は、区画整理との関係があるが、住民の協力を得て進めていけ。市街地再整備、都市計画道路の各調査結果をどうとらえているか。

⑫ 道路の整備は、防災とも関連して重要な課題だ。区道認定を積極的に進め、区画整理にもっと区が介入できないのか。都市計画事業を充実すべきだ。

無所属・社会民主クラブ

質問⑬ 道路の整備は、防災とも関連して重要な課題だ。区道認定を積極的に進め、区画整理にもっと区が介入できないのか。都市計画事業を充実すべきだ。

⑭ 従来は交通面を重視していたが、防災的要素が強くなってきた。区画整理事業はトラブルが多いが、積極的に取り組む。都市計画事業は、まだ区政の中で定着していない。今は組織づくりに努めている。

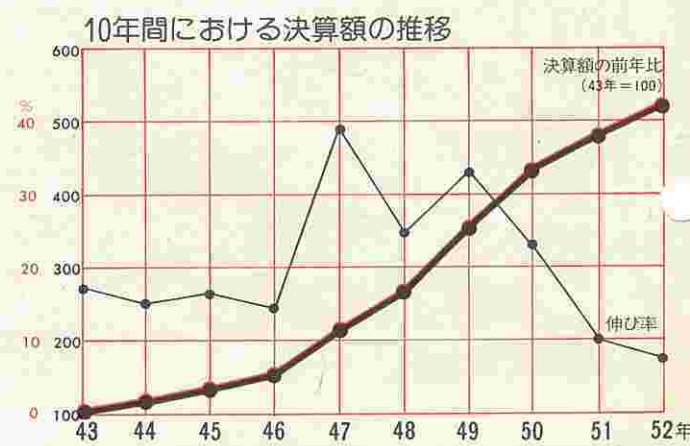
⑮ 公共溝渠の土あげ敷の不法占用を解決し、下水道敷設を進めよ。

⑯ 境界査定が難しいので、長い時間を要している。

⑰ 土木建築業者の会合に、区の幹部が出席しているのは事実か。



住みよいくりのために町づくりのために



10年における決算額の推移

Table showing the composition of expenditures by age group (48-52 years old). The table has three columns: Personnel Expenses (人件費), Administrative Expenses (行政運営費), and Investment Expenses (投資的経費). The rows represent the years 48, 49, 50, 51, and 52.

歳出の性質別構成比



豊かな人づくりのために

質問① 不祥事件を起こした職員は、なぜ同一職務を長く担当したのか。教育関係の事業は教育委員会独自で処理できないか。

② 「紛争調整条例」は、住民サイドのものにせよ。下水道工事後の道路復旧を速やかに行え。

無所属・社会民主クラブ

質問② 区民の意向に留意していく。道路復旧は住民に迷惑をかけないようにしたい。

③ 区民の意向に留意していく。道路復旧は住民に迷惑をかけないようにしたい。

日本共産党

質問④ 密集市街地の再整備では、調査を行い住民の意思やメリットを十分考えよ。

質問① 二十世紀に向けて、子どもの教育が一番大切だ。ひよわな子どもが多い。教師の研修・研究体制の充実もはかれ。

公明党

質問② センターの規模や運営方法を、教師を中心とした委員会で検討している。教師の研究、校外学習、教育相談などを基本にしたい。文化会館については、区民が積極的に文化活動に参加できる場として、原案を考えていく。

日本共産党

質問③ 区の教育行政で二三年の間に前進したものは何か。

④ 学童保育や障害児保育など、本来教育の範囲のものが他の部門で論じられているの向上をはかれ。実態調査を行い、もっと広く障害児教育を行え。

日本社会党

質問⑤ 図書館の役割は大きい。他の施設との併設では不十分だ。また、地域的に片寄らないよう建設せよ。

⑥ 教室の電気は暗すぎたり、身障児用の手すりや十分な学校がある。施設整備を積極的に進め、学童保育クラブを学校で行うなど、そのあり方を検討せよ。

⑦ 教室の照明が基準以下の学校がある。早急に改善せよ。障害児の就学手続きは、福祉部などと十分連絡をとり、早期に行え。

⑧ 暗い教室のあることは事実だ。精薄児施設に区内から通学できない場合があり、青島養護学園に小学部新設を要望している。

民社党



投資的経費のより効果的な工夫を

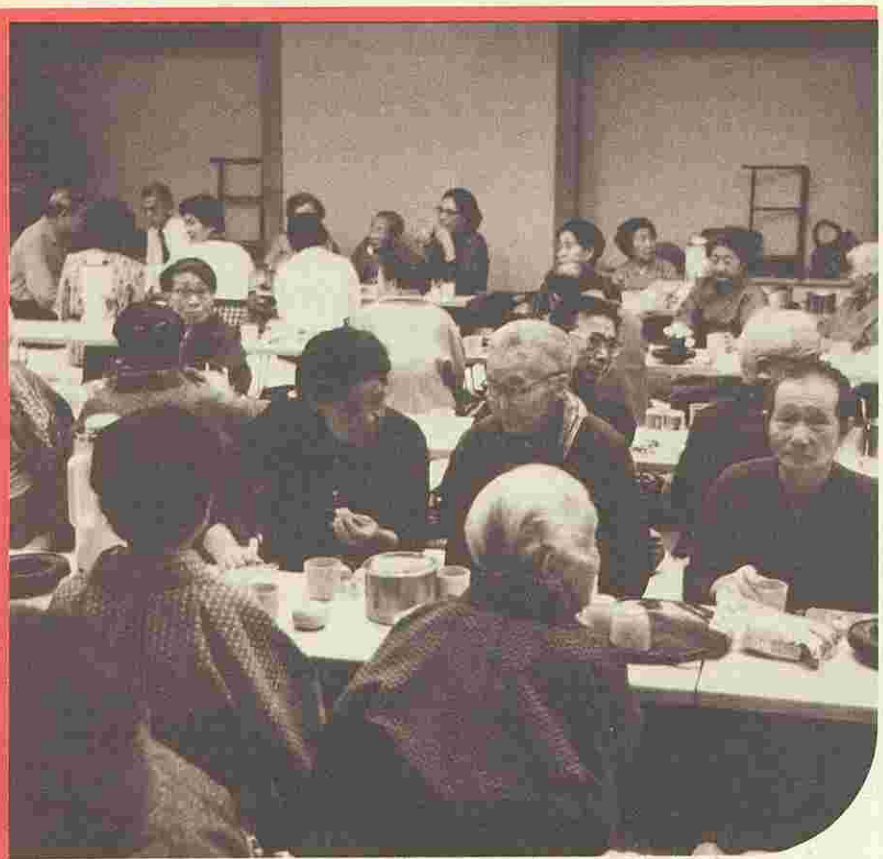
自由民主党

昨年は、区制四十五周年・特別区制三十周年を迎えた中で、「自然保護」、「文化財保護」の条例制定をはじめ、「コミュニティ」施設の充実など、その努力の足跡に対し一応の評価をした。

52年度決算の収支状況は、一応安定化の方向にあり、健全財政の努力に対しても評価ができる。しかし、社会資本の投資については、行政運営費のふくらみとは逆に、投資的経費が前年度より11・8%も減少している。これは、人件費・行政運営費の増によるものであり、今後の区財政の運営に大きな問題を残している。投資的経費の減少をいとめる手法として、借金財政に落ち入らないよう配慮しながら、起債の積極的な活用を検討すべきだ。一方、行政運営費については、急速な組織の肥大化を防ぎ、事業の選択と共に、効果の薄い事業を縮小・廃止して対処されたい。また、施設の委託管理や手数料等の、行政負担と受益者負担のあり方を積極的に検討されたい。

内部努力では、職員の意識改革に期待したい。昼休み窓口の完全実施、ネームプレート着用などは、区民サービスの徹底と、意欲に燃えた職員育成の一手法として提起する。区長の提唱する「ヒューマン都市」建設に向けて前進しようとするならば、区民の参加を求める前に、まず足元の戸内から改革しなければならぬ。職員の一人づかりに本腰を入れてもらいたい。

委員会審議の中で、私立幼稚園の助成による公私格差是正の推進と併せて、世田谷区における幼児教育を長期展望に立て、根本的に見直すことを、わが党から提起した。これに対し区長は、「54年度中に、基本的改革の具体的施策の結論を出したい」と、勇気ある発言があり、わが党はこれを高く評価したい。また、区民健康村建設の提案には、目下用地を検討中との答弁があった。わが党としては、青少年の育成から老人に



決算を通じて、区民施設をめぐる数多くの問題が論議された。23区中、人口が最高の当区では、もっとも区民施設が要望されている。写真=老人休養ホーム「ふじみ荘」で。

決算に 対する 各派意見のあらまし



きめ細かい諸施策を 予算に反映させよ

公明党

健全財政を維持しながら、老人専用住宅の建設、在宅婦人健康診断制度、身障者の自動車運転免許取得の助成、私道街路灯の設置、高額療養費貸付制度など、多くの福祉新事業を推進したことに対し、わが公明党区議団は評価する。

現在、「ヒューマン都市世田谷」の将来像を示す「基本構想」に続いて、「基本計画」の策定が進められている。これは、区民生活に直接かかわってくるだけに注目されている。区民からの要望・意見を十分取り入れて、区民と共に町づくりを進めるようにせよ。財源の裏づけとともに、社会情勢の変化にこたえられる弾力的計画が必要だ。

次に、今後の区政に望む主要な要望と意見を述べたい。まず福祉行政では、これまでの「補助金・助成金」の見直しを行い、インフレの進む中で、何年も変わらない額の助成金などが見られる。近づくか、審議会答申が出されるが、適正な予算の編成を要望する。

「幼児教育の義務化」、「幼保一元化」などが盛んに論議されている。だが、公私立の格差があまりにも大きく、不公平なものとなっているのが問題だ。私立への助成アップなど、この是正が急務になっている。早急に手を打ってもらいたい。

52年度建設された「老人専用住宅」は、誠に好評だ。拡充に全力をあげ、今後は、

至る生涯教育まで、また、身障者の福祉、区民の休養・保養、林間学園、スポーツ等、広大な構想を望みたい。場所は、短時間で利用度の高い所を考えよ。

老人福祉対策は、老人専用住宅の提供という新しい事業が芽を出した。現在、区内の浴場が、月一回無料開放されており、老人のコミュニティの場となっている。これを区の施策の中に入れ、さらに発展させていってほしい。

保育園の保育料や学童保育クラブのオヤツ代の未払金は、十分調査し、可能な限り下げようとするべきだ。

下水道は、都市の基幹的施設だ。これを区民に贈る「最上の福祉」と考える。早期完成に最善の努力を払われたい。

防災対策の根本は、逃げなくてもよい町づくりにある。今は、逃げる対策のみに置かれており、都市構造の抜本的改革こそ防災対策の決め手だ。区長が先頭に立ち、都の積極的な協力を求める運動を展開させたい。区としても、不燃化住宅の建設を指導するなど、積極的な姿勢を強く望む。

教育は社会形成の重要基礎だ。義務教育施設など、教育環境の整備に万全を期すよう強く要望する。

先般発生した不祥事については、その原因を徹底的に究明せよ。わが党としては、理事者の猛省を促すとともに、厳正な行政執行体制の確立を求めてもらいたい。



福祉施策充実を評価し 一層の前進を

日本共産党

町づくり、動く防災組織の充実を推進せよ。学校施設の整備に十分意を用い、野球のできる校庭の要望が多いので留意されたい。学校開放も、区民に大変好評なので、拡充していけ。

青少年の非行化防止のため、その要因で

昭和52年度を前に私たち区議団は、区政が、基本的には区民本位の区政をめざし、区民や職員の参加を進めてきてほしいこと、「福祉重視の区政を推進させてほしいこと」の二つを評価し、次の事項を予算要望の中で強調した。①さらに一層きめ細かい福祉充実・前進の年とする。特に保育園建設・用地取得、老人借上げ住宅の建設に力を注ぐ。②住民自治、地域自治を育てる条件整備、物質的環境づくりに重点を置く。③二つの重点を実現するため、当面、区長をはじめ全職員の自己変革を自主的、積極的に行う必要がある。

この年の国家予算は、大企業のための景気浮揚をめざす公共投資を進める一方、国民への公共料金引き上げ、増税、低福祉、地方財政への締めつけを特徴とした。そのため、当区の決算においても、この影響が表れた。だが、内部努力等により、とにかく乗り越えてきたことに一定の評価をしたい。

福祉面でも、保育園・学童保育所・児童館の建設が進み、老人専用住宅も設置された。身障者のための自動車運転免許取得や自動車改造費助成の新設など前進した。

住民自治・地域自治の育成等も、鳥山区民センターの着工をはじめ、区民集会所の増設、福祉会館の利用時間延長、小中学校の校庭開放拡充などが見られる。

以上のように、この決算は基本的にわが党区議団の支持するものとなっている。しかし、今後の区政推進のために、いくつかの問題点を指摘しておきたい。

まず第一に、都の財政危機による区財政への影響を考慮するなら安閑とはしてはいられない。

もある不健全図書館の自動販売機の規制条例を検討せよ。図書館・美術館の建設を進め、文化行政を推進していけ。

これらのきめ細かい数多い課題は、今後の予算編成に十分反映させてもらいたい。

ない。特に、膨大な超過負担が地方財政を圧迫している問題を改めさせる必要がある。決算審議で明らかになったように、当区の超過負担総額は、用地関係費を除いても実に三億三千万円にも達している。区は、国や都に要求すべきは要求し、さらに内部努力を重ね、区民の理解と協力を得るよう一層頑張ってもらいたい。

保育園の増設は、法律上当然行うべきものだ。運営経費の八割を国が負担することになっているのに、必要額を出していないため、区の負担が多くなって問題にされている。公私立間の格差是正も前進させなければならぬ。学童保育所についても、一小学校区に一所設置の方向で努力されたい。

障害者(児)対策をもっと重視すべきだ。出生前からの妊婦の教育や、早期発見・早期治療体制などを、しっかり位置づける必要がある。保健センターの問題点がはつきりしない点も指摘しておきたい。

新玉川線沿線の小中学校の増設案に万全を期してもらいたい。また、子どもをとり巻く環境悪化の実態調査を行うなど、対策を急ぐ必要がある。

震災予防計画と危険度の高い地域の町づくりをドッキングさせ、基本計画にそれを位置づけよ。関係住民の意見を聞いて、町づくりの「診断書」をつくるべきだ。

区民意識調査やアンケート調査を全職員で行うなど、新入職員だけでなく、古い職員にも区民との接点の機会をつくってほしい。区民は、自発的、積極的な職員を望んでいる。そのためにも、職員の意識改革を進め、区政を担う責任を強く要望したい。

特別区に もっと財源を!

「特別区財源獲得大会」が、10月26日に九段会館で開催された。これは、毎年二十三特別区議会が主催して行われており、今年で通算十二回目。

当日、世田谷区からは、議長はじめ、区議・理事者など六十四人が参加。他区からの参加者や政党代表など、千三百人で会場が埋め尽くされた。

大会では、税・財政制度の改善などが強く訴えられ、次の六項目を決議。大会



「特別区財源獲得大会」が、10月26日に九段会館で開催された。これは、毎年二十三特別区議会が主催して行われており、今年で通算十二回目。

当日、世田谷区からは、議長はじめ、区議・理事者など六十四人が参加。他区からの参加者や政党代表など、千三百人で会場が埋め尽くされた。

大会では、税・財政制度の改善などが強く訴えられ、次の六項目を決議。大会

決算に 対する



各派意見のあつまり



財源確保のために 積極的な行動を

—日本社会党—

これまでの決算の伸び率が二桁の率であったものが、52年度は8・3%と、ついに一桁台になってしまった。これは、今後の財政運営上見逃がすことができないことだ。また、収支で赤字になったからといって、楽観は許されない。不況とインフレと物価高が同時進行している中で、自然破壊・公害・住宅不足・交通地獄など、都市化現象が深刻化しているからだ。加えて、大地震の発生が予測されており、行政需要の増加が一層加速化することは必至だ。

政府は、「一般消費税を導入すれば地方財政が潤う」と言っている。だが、これは物価高をもたらし、むしろ財政支出を増やす結果になる。これを阻止するために積極的な行動を起こすべきだ。また、不公平税制の根本的改革を国に強く訴えていけ。都区間の財政調整については、現在の「都主導型」を改め、都区対等の立場で行うよう交渉せよ。同時に、内部努力についても一段の創意と工夫を要請したい。国庫支出金・都支出金の確保はもとより、使用料や保育園・幼稚園の入園料は「応能主義の原則」に基づき、適正な受益者負担をはかっていけ。さらに、地方債の活用にも留意されたい。

歳出においては、性質別経費でアンバランスが見られるが、現状ではやむをえない。保健センター運営の効率化など、運営経費の見直しが必要だ。都市施設の整備が叫ばれており、特に道路建設が大きく立ち遅れている。樹木の保護も必要だ。緑化と道路づくりの選択に迫られる事態も起こりかねない。健康村建設計画が浮かび上がってきたのも、こうした区民のニーズにこたえる発想と思われ。しかし、今ここで広大な土地を求め、施設をつくとすると莫大な経費が必要だ。

保育園増設の要望は、年と共に高まるばかりだ。緊急課題として取り組み、保育料の適正化が必要だ。また、障害児保育にも積極的な取り組みを要望する。高齢化社会を迎え、老人対策の一段の強化が重要課題になってきた。軽費老人ホームの建設が強く望まれる。

図書館は、基本的な権利の一つとして知る自由を持つ住民に、資料と施設を提供するという重要な任務を持っている。大規模な中央図書館よりも、数多くの地域図書館の建設を強く要望したい。

経費の適正配分を行うためにも、政策基準の数量化、即ち「シビルミニマム」の設定が必要だ。住民や議会からの要望に対して、色をつけて上積みするような非計画的予算の編成は、断固改めなければならない。基本構想では、「科学性」をうたっているが、基準の設定がなければ具体化できない。従来の自治体機構は「機能マヒ」を起こしている。今回の職員不祥事もその一つの表われだ。弾力的な組織に組み替え、企画を中心とした政策機構能力を拡充し、住民参加制度も拡大していけ。住民の批判性・創意性を吸収するようにはかれ。

区は、綱紀粛正を契機として、職員参加による「機構改革委員会」を設けて、全庁的視野から執行体制を見直し、来春3月までに民主的再編を実施すると聞いている。



効率的行政を行うための 組織改革を

—民社党—

わが党は、これまで再三にわたって「組織機構の見直し」を強く主張してきた。市なみの、一人前としての業務を行うためには、従前からの「標準組織」にとらわれていては駄目だ。全庁的な議論の中から見直していくべきである。今のタテ割り組織では、もはや対応できない時期にきている。年々増え続けているさまざまな住民要求にこたえるには、横断的な動員力で機能していかなくてはならない。総合的に、もっと深く再検討するよう強く要望したい。

今日、効率的な行政の展開がよくいわれている。一体、この本当の意味するものは何なのか。トップ層だけではなく、職員の詳細にわたるまでこれが徹底されないと、その実現性は乏しい。組織改革と併わせてぜひ検討されるよう配慮されたい。コミュニケーション施策の重要性は、今や大

区民の健康維持も区政の大きな課題だ。11月12日の「健康増進普及講演会」には、定員を上回る区民が集まり、熱心に耳を傾けていた。写真=保健センターで。



われわれ社会党区議団は、住民と共に大きな期待を持って、その成果を見守りたい。

きな柱になっている。その中で、特にボランティアが果たす役割は非常に大きい。しかし、区における機構も、人の配置もなされていらないのが現状だ。基本計画が作成されつつある中で、行政側としてのあり方、住民からの受入れ方をぜひ考えよ。その点にも少しエネルギーを集中させるべきだ。それには、行政のプロの養成がどうしても必要になってくる。昔の役人の考えでも通用しない。今日の新しい社会情勢の中では、行政側のリーダーが欠かせない。それにより住民と行政のタイアップが可能になるのだ。

一方、住民の行政への関心を集める工夫を怠ってはならない。保育問題にしても、部分的な問題のみにとらわれて議論がなされている。区政全体の立場から見た議論を、各セクションで起こすべきだ。それがなされない部門、少ない部門に限って大きな問題があるようだ。単に自己の「権利」のみを主張して、保育料不払いを行うなどは、まさに言語道断だ。これは、行政の本質を踏みにじることになる。先日、老人大学の設置の要望があったが、それに対し区側は、設置の可否だけではなく、老人全体の問題や地域の問題など、広い観点からの提起を逆に行なっている。それが、行政と住民のお互いが理解を深める結果になっている。区民の期待の大きい保健センターは、その具体的な運営に着手してもらいたい。下水道の促進にあたって、区の考えを積極的に示すなど、一日も早く完成するよう努力されたい。

教室内の照明が不足している学校が現実存在している。子どもたちの目を悪くするとはもってのほかだ。直ちに改善するよう強く要望する。



「福祉の基本理念」を 追求せよ

—無所属・社会民主クラブ—

当区は、これまで4本の政策の柱を立てて予算編成を行なっている。52年度も全く同じ姿勢であった。即ち、①しあわせなくらしづくり、②緑のあるまちづくり、③心のふれあうまちづくり、④豊かな人づくりである。この財源配分を見ると、①27・4%、②9・4%、③7・5%、④13・7%となっていることは、「民生費」がトップを占めていることは、「地方自治の基本理念」につながるものであり、賛意を表したい。

しかし、「福祉の基本理念」とは何か。それが「完全であったか」というと、残念ながら大きな疑問を感じる。改めて「福祉の基本」を追求し、54年度の予算編成に取り組んでもらいたい。予算の執行がよかつたからと手離しで評価できない。例えば、老人福祉施策などは、非常に細かく項目を分けすぎる。そのため、実際の成果はとてむもむいものになっている。もっと大切な事業を集約し、福祉で覆い、いかに考えるべきだ。また、身体障害者施策にしても全く同じことがいえる。恩恵を与えるような姿勢で福祉予算を組むことは絶対にやめてもらいたい。

来年度から「心身障害児の義務教育化」が実施される。これには、教育、福祉など広い条件整備が要求される。この機会に、総合的基本方針を立てて体系化をはかれ。○起債権の市のみへの是正 ○区の自主性を尊重した都区財政調整 ○国有跡地の区の優先活用 ○身近な仕事の区への早期移管



区議・理事など二十四人が参加。区からの参加者や政界代表など、千三百人での会場が埋め尽くされた。大会では、税・財政制度の改善などが強く訴えられ、次の六項目を決議。大会終了後、国会に陳情を行なった。○超過負担の完全な解消 ○地方交付税率の引上げと適正な配分 ○起債権の市のみへの是正 ○区の自主性を尊重した都区財政調整 ○国有跡地の区の優先活用 ○身近な仕事の区への早期移管

代表質問



基本計画の策定には「システム・ダイナミクス」の手法を

—自民党—

質問 ローマクラブ(経済的発展)は「システム・ダイナミクス」という手法を用い、人類の未来予測をして、世界的に大きな反響を呼び起こした。日本でも兵庫・宮城・神奈川などの各県がこの手法で、独自のモデルを作成し、さまざまな計画や施策に取り入れている。当区の基本計画の策定に、この手法を取り入れてはどうか。

区長 計画策定にあたっては、科学的データを基礎に的確な将来予測を立てる。住みよい町づくりに必要な施策を区民に提示し、合意を得たい。

質問 都市化が進む中で、都市の住民は自然を奪われ、豊かな心が失われてきている。公園、図書館、劇場などの公共施設の増設がぜひ必要だ。コミュニティ施設の管理は住民の自主運営にまかせよ。

区長 基本計画の中で、施設の増設を重点的に検討したい。自主運営方式の確立は必要だ。建設中の「仮称弦巻区民センター」では実現化をはかっている。

質問 図書館は区民の「精神的オアシス」だ。多摩地区が、ユニークな図書館活動を行っているのは専門の司書職が確立しているからだ。区でも一般事務ではなく司書の職を設けるべきだ。図書購入費の増額、移動図書館方式も考えよ。

教育長 毎年研修をさせ司書資格者の増員に努めている。職種については「特別区人事委員会」と連絡をとり検討する。図書館行政の充実に努力していく。



幼児教育の公私格差を是正せよ

—公明党—

質問 高齢化社会が目前に迫っている。高齢者に生きがいを与え、労働力を社会的に活用する施策が必要だ。

区長 地域社会の発展のため、高齢者の自立と生きがい対策の助成に努めていく。

質問 汚職事件を二過性のものとせず、職員のマニラの向上に努め、二度と起こすな。二度と繰り返さないよう根本的な改革を検討する委員会を発足させよ。

区長 汚職事件を二過性のものとせず、職員のマニラの向上に努め、二度と起こすな。二度と繰り返さないよう根本的な改革を検討する委員会を発足させよ。

質問 低成長の時代に入り、区財政も苦しくなってきた。行政サービスの限界、行政と住民の役割分担を確立し、行政内部の合理化を実行せよ。

区長 区民福祉の維持・向上を原点とし、基本計画の中で、施策の優先順位、事務事業の整理、組織の改正など根本的な見直しをしていく。

質問 保育園の公費負担が大きすぎて、税の使い方が不公平だ。私立保育園への助成を強化し民間委託・公設民営方式などを考えよ。また零歳児保育にも区の負担が大きすぎる。

区長 国の基準が低すぎるので、超過負担を強いられている。区長会を通じ国に強く改善を要望している。零歳児保育は十分検討していく。

質問 幼稚園の公私格差を、私立への補助金の増額により是正せよ。未就園児に対する親子教室を制度化すべきだ。

区長 補助金の増額・公立の保育料の適正化を検討する。親子教室は、今年度大幅に拡充した。

質問 国際児童年にあたり、国の児童施設を誘致するよう積極的に働きかけよ。

区長 児童劇場を積極的に誘致したい。遊び場などの施設の整備、児童年にふさわしい行事を行いたい。

質問 今回の汚職事件は、同一ポストに職員が在職する期間が長すぎたためだ。人事異動・機構改革を早急にすべきだ。



住民の手による生活環境・町づくりの条件整備を

—共産党—

質問 「住民自身による生活環境づくり」のため、地域住民の自主的な住民協議会を育成せよ。住民の問題意識が高い過密地域、西部未整備地域ではつくりやすいのではないかと。

区長 地区ごとに環境を整備する「地区整備計画」を基本計画に組み入れる。この計画作成への区民参加や、防災組織づくり区民の会」などを通じて協議会を育成していきたい。

質問 過密地域、西部未整備地域の整備の方式を早く確立せよ。

区長 公共用地的確保に全力をあげる。市街地整備の方法の改善をはかり、区民の協力を得る方法も考えたい。

質問 過密地域の再整備には、住宅政策が不可欠だ。都営住宅の改築や区営住宅建設を考えよ。

区長 再整備には代替地や再開発の拠点の取得が必要だ。公営住宅の建設も必要であり、町のあるべき姿を考え、進めていく。

質問 建築部の汚職については、事件の重大性を認識し、全庁的に反省せよ。職場の自己点検を行え。



人事・組織のチエツクを強化し汚職の再発を防げ

—社会党—

質問 建築部の汚職事件は、革新区政にとり誠に残念なでき事だ。再発防止策として、建物の監査に専門家を加えてはどうか。助役から、事件関連業者が施行した学校に手抜き工事はないか」との報告があったが、第三者による検査は行わないか。

区長 助役 事件発生については、深くおわびするとともに、組織や事務運営上の欠陥を洗い出し、再発防止に全力を傾ける。

土木・建築などの設置には専門的な委員の設置も考えたい。大学教授などの専門家に委嘱して再度チェックを行う予定だ。

質問 部下の勤務状況の把握や同一ポストでの長期在職など、人事管理に手落ちがあったのではないかと。

助役 建築部長 指摘のとおりだ。係長級の異動を積極的に進め、改善を急ぐ。

質問 高齢化社会を迎え、老人の生きがい対策もますます必要になってきている。7月に発足した高齢者事業団の登録者は、二千名を超えた。だが、事務系の仕事は全くない。積極的にPRせよ。区の施設の清掃を頼んでほしい。

区長 民間企業などに働きかけ、事務系の仕事を開拓していくが、仕事に対する



社会情勢に適合した機構・人事の改革を行え

—民社党—

質問 公選区長二期目を迎えるにあたり、庁内の機構・人事の再検討を行い、施策の見直しをする必要がある。効率的な行政運営と社会情勢に適合した機構のあり方を、区長はどう考えているか。

区長 事務改善プロジェクトチームに、従来の機構にとらわれず検討するよう指示している。来年3月の定例会には、その一部が報告できると思う。

質問 職員の意識改革に努め、従来の都に依存する行政を改めよ。企画調整部門を強め、文書・事務と労務の各管理課を設置せよ。また、各部相互間の調整担当主幹の設置を考えよ。

企画部長 今後、基本計画を実施する上で企画部門の強化は必要だ。各課の新設については、プロジェクトチームで検討していく。

質問 急速に人口の老齢化が進みつつある。高齢者の対策を区政の中に明確に位置づけてほしい。

区長 長期的視野に立ち、援護が必要な老人への対策とともに、健康な老人の社会活動への参加を促していく。

質問 老人大学の卒業生が学んだ成果を、地域社会に生かせる場を設けよ。三宿にできる敬老会館は、単に老人のための施設としてではなく、コミュニティ形成の場にしてほしい。

区長 老人大学の卒業生には、地域社会での指導的役割を期待している。自発的に社会参加できる土壌をつくりたい。新設の敬老会館には、コミュニティの機能を持た



汚職の再発防止に全力をあげよ

—無所属 社会民主クラブ—

質問 汚職事件の発生は、オール与党化とも思える議会側にも責任がある。一方、行政側は自らを厳しく反省し、再発防止に全力を傾けよ。工事の発注を、隣接区の業者にまで広げ、区と特定業者との癒着を防止すべきだ。

区長 今後は、工事規模・施工能力・工事実績を十分検討し、適切な業者を選定を行う。質問 管理職への登用は、管理職試験だけに頼っているが、抜本的な見直しをはかれ同一ポストでの長期在職を改め、他区との交流を活発化せよ。

区長 12月に「特別区人事委員会」から、独自の選考方法の具体案が提出される予定だ。技術職・専門職についても、長期在職者の解消に努力する。

質問 景気の回復が遅れており、来年度の区財政は、厳しさが予想される。施策の見直しや縮小、増税や受益者負担の確立が必要だ。今後の区の財政運営のあり方をどう考えているか。

区長 使用料・手数料は見直しの時期にきている。料金改定にあたっては、基準を設けるなどルールを確立し、適正な受益者負担を考慮していく。

質問 保育料の不払いや、昼休みの窓口開設、職員の名札着用などはその後どうなっているのか。

区長 総務・保険児童部長 督促した結果現在は、納入困難な者以外未納者はいない。53年6月から、戸籍と福祉部門の昼休み窓口開設を実現させた。出張所などの年内実施も協議している。名札は、そのあと考えていきたい。

質問 社会教育の連続講座への講師派遣について、助成条件緩和の要望がある。これに対し区長は、「区のおしらせ」で手直しすると述べているようだが、政党色の強い団体への助成は行わない。

区長 教育委員会で、より良い方法を考えている。



高年齢者に対する社会対応策が急務になってきている。老人大学、高齢者の設置など、区も懸命に努力している。写真「ふじみ荘」で。

一般質問



区内の国有地の取得に全力をつくせ

質問 世田谷郵便局跡地は、三軒茶屋地域の公共用地としてぜひ確保せよ。利用については、地元の事情を考え、地域にふさわしい計画を立てていけ(自民・公明)。

企画部長 今後も跡地の払い下げを、郵政省に強く要望する。三軒茶屋地域のあるべき姿を考え、具体的な計画も提示したい。

質問 教育大農場跡地の利用試案が、大蔵省から示された。都・区案の高校や公園のほか、公共住宅の建設があるが、人口の急増が地域に及ぼす影響は大きい。再度都と一体となって、区案を提出せよ(共産)。

区長・企画部長 都・区案は、多くの要望をこぼしてきたものだ。住宅建設よりは、小学校の建設などが必要だ。地元の要望を優先してもらおうよう努力していきたい。

質問 玉川支所はスペースに無理がある。窓口の配置や集客室の改善が必要だ。住民の要望を入れた拡張計画を示せ(社会)。

企画部長 隣地の買収計画をつくり、早急に検討していきたい。

質問 国内の経済は、未だに低迷を続けており、区としても業務委託による経費削減に努めなければならない。部・課の整理統合や職場間の応援体制を考えるなど、行政の改革に努めているか(自民)。

区長 業務委託は、「サービスク」を設立した上でやりたい。機構改革と併せて、効果のある人事管理をしていく。

質問 住民参加の区政を進展させていくため、区長相談課を設けてはどうか(公明)。

区長 現在は広聴課が相談窓口となっているが、行政改革の機会に区長室を設置し、その中で広聴課との一本化をはかりたい。

質問 婦人会館のホールに、音響設備、映写設備などを備えよ。集客室の間仕切りも完全なものにせよ(共産)。

総務部長 改造、整備を順次進めていく。

質問 不祥事件の再発防止のために、部長自ら、厳しい態度で職務に臨む姿勢を示せ。職員の研修の方法に、思いきった検討を加え、予算もぜひ増額せよ(民社)。

助役 綱紀粛正に努力し、新しい角度から研修方法を煮つめて強化していく。



文化事業をとり入れたゆりの行政を

質問 大場区政の特徴ともいえる文化と行政の結びつきを定着させ、今後もゆりのある行政を進めていけ。美術館の建設にとどまらず、あらゆる文化活動ができるセンターを建設できないか。また、「文化部」を設置する時期が来ていると思うが、区長の考えを示せ(無・社民)。

区長 54年3月に、まず「文化課」を設置して将来の構想を立てていきたい。今は住民の間に美術館建設の気運を盛り上げる必要がある。区も建設のための体制を整えておきたい。世田谷公園の野外音楽堂の建設や、各ホールの音響設備を考えていく。

「次太夫堀」の復元に合わせて環境を整えるなど、広く文化問題に取り組んでいく。

質問 羽根木公園に「あづまや」を建ててはどうか。隣地を買収できた時は、古民家を置き、一年中楽しめる公園にせよ。梅林を広げて、梅もぎの機会を小学生にも与えよ(公明)。

古民家と併せて常設の展示会場をつくれぬか(共産)。

区長・土木部長 古民家などを設置し、休憩所を兼ねた文化遺産の展示場を考えたい。梅林を広げるなど、提案された点の実施を研究していきたい。

質問 文化的な面を、「基本計画」に盛り込むことが必要だ。将来の構想を示せ(共産)。

総務部長 文化や芸術に、いつでもふれられる場の提供に力を注いでいきたい。

質問 区の施設は、多目的な利用を考えて改善していけ。今後は長期的展望に立った施設計画が必要だ(社会)。

企画部長 「施設の有効利用」を、プロジェクトチームで検討中だ。「基本計画」で、施設の改善、配置の適正化を考えていく。

質問 「区政アンケート」の回収に努め、そ



世田谷の西側に横たわる多摩川は、区民にとって憩いの場であり、健康づくりに立っている。写真：三橋付近。



身障者施設の職員に専門的な研修を行え

質問 梅丘実習ホームには、それぞれ違った症状の身障者が通っているが、医学的見地から見つめて指導できる職員がいない。これは身障者はもちろん、職員にとっても不幸なことだ。現場の職員に専門的な研修を行え。このような職場は、研修、指導をしてから職員を配置すべきだ(民社)。

助役 専門的知識を持った運営が行われて

いなかっただことは事実だ。今後は十分検討し、専門家による指導をぜひ実施したい。

質問 「福祉保健検討委員会」でとりあげられているテーマを明らかにしていけ。委員会において、障害者の対策は長期的展望に立って論議されているのか。老人対策や幼児一元化については、もっと掘り下げた研究をせよ(共産)。

福祉部長 障害者にとって住みよい町となるよう、総合的な福祉施策を行う。老人対策では、要望のより高い施策への転換、居宅サービスの実現などを検討している。

質問 国民年金の特例納付者に対し、金融機関では融資を行っていない。区で利子補給を行うなど、積極的に援助せよ(公明)。

保険児童部長 区単独での補助は、財政的に無理だ。国に貸付制度の実施を要望する。

質問 「福祉タクシー制度」の対象者の枠を広げよ。身障者用改造自動車のガソリン代を助成できないか。身障者手帳の一・二級者に「難病手当」を併給せよ。母子家庭の医療費を公費負担にできないか(社会)。

福祉部長 対象者の拡大は慎重に検討している。ガソリン代の助成や難病手当の併給は困難だ。母子家庭の医療費負担を国に働きかけていく。当面は高額療養費貸付制度などの拡充で対応したい。



老人の知識と経験を地域社会に生かせ

質問 老人大学を卒業後、さらに地域リーダーとしての知識の修得が出来る場を望む声がある。老人大学の講師を、老人クラブなどに派遣してはどうか(公明)。

大学院設置の要望にどう対応するのか(自民)。

区長・福祉部長 卒業生には、その知識、経験を「地域活動」に生かしてもらいたい。卒業後も勉強を続けられるように考えているが、老人大学への入学希望者のことを考

えていくことも必要だ。

質問 老人福祉費は、老人が区に占める割合をやすくと増額せよ。リハビリ施設が必要だ。当面保健センターの活用を考えよ。

高齢者事業団に積極的な援助を行え(公明)。

区長・福祉部長 老人福祉費の増額に努めていく。保健センターの活用には問題があるが、リハビリ施設は必要だ。検討課題としたい。高齢者事業団には十分援助し、職員の増員などは都と協議していく。

質問 地域格差のないよう、保育園を建設せよ。北沢・代沢地区に増設せよ(共産)。

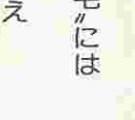
保険児童部長 「基本計画」の中で、格差を生じないように考えていきたい。北沢・代沢地区の増設は、用地の取得が難しい。

質問 区民集会所は、登録団体以外の者も利用できるようにせよ(社会)。

区民部長 民間施設を借用しているが、自主管理方式なので、登録団体に限られている。

質問 三宿の敬老会館の建設にあたっては、地元の見解を取り入れた、多目的に利用できるものを考えよ(公明・自民)。

福祉部長 地元住民と十分話し合い、できる限りそのようにしていきたい。



「三三開発住宅」には十分な建築指導を行え

質問 ミニ開発の「住宅」は、隣家との境界線から最低50cmあけ、モルタル造りとすよう指導を行え。建築行政は、条例に基づいていけば良い」とするのではなく、住民の立場に立って慎重に指導を行うべきだ(社会)。

建築部長 「ミニ開発の指導要綱」をつくる時は、提案された点を参考にしたい。住民の意向を尊重していく。

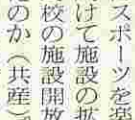
質問 国道二四六号線の金網は、広域避難場所へ向かう人たちの妨げとなる。対策は講じているのか。塀の生け垣化の助成は、対象範囲を広くとったものとせよ(自民)。

環境部長 道路の柵については、管理者に申し入れてあり、対策を講じる」との回答を得ている。生け垣をつくりやすい条件を検討中だ。

質問 危険度3の地域への防災対策は、特に短期計画を策定して早急に行え(公明)。

環境部長 危険度3の地域の貯水槽は、都と共同で設置していく。防災空地の確保のため、都に補助対象地域の指定を強く要望すると共に、適地を調査して取得に努める。

質問 都の呑川の河川改修と並行して、主



校庭の整備を急ぎ区民にスポーツ開放を

質問 区民がいつでも気軽にスポーツを楽しめるように、校庭開放に向けて施設の拡充計画を早急に行え。都立高校の施設開放について都との折衝は済んだのか(共産)。

教育長 小中学校の施設を早急に整備していきたい。都立高校の早期開放を都に申し入れてあるが、直接区内の高校にも要望していきたい。近いうちに一校が開放される。

質問 代田小学校の通学路は、歩道の狭い所があり危険だ。早急に改善せよ(公明)。

土木部長 用地を買収し、拡幅に努める。

質問 幼児教育の充実のためには、幼稚園・保育園の一元化が必要だ。五歳児の全員入園を国に先がけて行え(無・社民)。

区長 「幼児一元化」を、一貫した幼児対策として実現したいが、時間が必要だ。

質問 青少年の健全な育成をはかる区の基本姿勢を示せ。非行化防止に取り組んでいる各団体は、十分に機能しているか(自民)。

区長・教育長 行政側と地域社会、大人と青少年がよく話し合い、青少年の意欲と能力を積極的に引き出していきたい。青少年関係の施設の拡充、より良い環境の整備も必要だ。たくさんある協議会を一本化し、実践的な仕事をしていきたい。

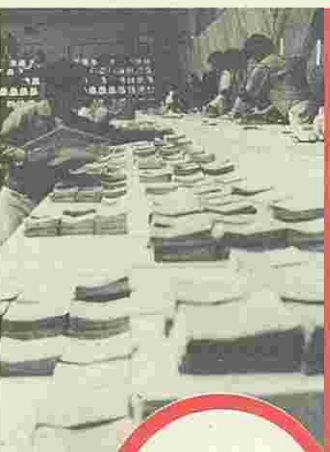
質問 不健全図書自動販売機を規制する条例の制定に踏み切れ(公明・自民)。

区長・教育長 条例、指導要綱のいずれで規制するか、3月議会を目途に検討中だ。

要校線を延ばし、工事完了後はすぐに下水道を利用できるようにせよ。下水道工事に落ちのまないよう、監督を強化せよ。枝線工事への補助を国に要望していけ(社会)。

みなさんから出された 請願

審議が終わったもの
採択 七件
家庭福祉制度に関する請願
世田谷区立中学校整備充実に関する請願
等々力溪谷公園の整備と風致地区一部解除に関する請願
以上三件、願意に沿うよう努力されたい。
老人大学大学院設置に関する請願
大学院の名称にはこだわらないが、願意に沿うよう努力されたい。
仮称「区立千歳台小学校」に郷土資料室設置に関する陳情
出土品等文化財の保存については、展示コーナー等の設置により、願意に沿うよう努力されたい。



今年の4月には、「統一地方選挙」が実施されます。そこで今回は、これまでに行われた「世田谷区議会議員選挙」のデータを集めてみました。

最高得票数は一万票をオーバー

過去八回における区議選挙の投票率等の推移は別表のようになっている。このうち投票率が高い昭和46年のときは、都知事選挙も同時に行われたため、戦後最高の記録だった。これまで当選者の個人最高得票数は一万八五五票(昭和42年)で、46年のトップも一万票の大会に乗せている。なお、前回(50年)の最高は六三三三票、五十五位の得票は二七三三票だった。

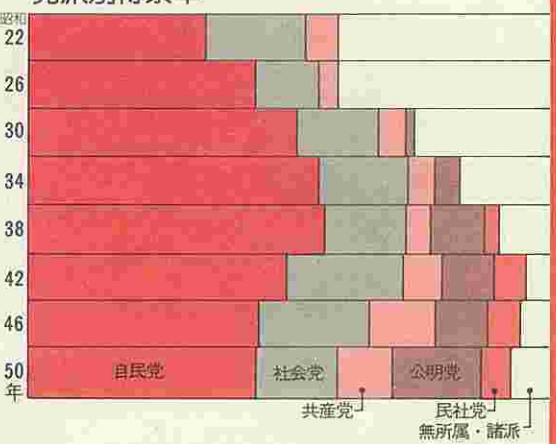
区議選挙の推移

Table with columns: 昭和, 定数, 候補者数, 倍率, 現職再選率(%), 投票率(%). Rows show data for years 22, 26, 30, 34, 38, 42, 46, 50, 54.

私たちの生活シリーズ③ 区議選挙をふりかえって

定着してきた政党化・多党化現象
一方、党派別の得票率(グラフ)からもわかるように、最近「政党化」「多党化」が定着してきている。
二十年前の昭和34年当時、四五人のうち政党・団体役員、無職の人がわずか八人しかいなかった。それが現在では、五五人の半数近くの二四人にも増加している。また、世田谷区議会議員の大きな特徴として、平均年齢が他区と比べて若いことがあげられる。昭和46年と50年の当選議員平均年齢は、奇しくも全く同じ四九・一歳である。いずれも二三区では一番若い。

党派別得票率



区民の区議選への関心度は

区の選挙管理委員会では、区議選挙が終ると、区民のみなさんの協力を得て世論調査を行っている。前回(50年)の調査結果では次のようになっている。
投票率では、20代が低く、30代が高いのが目立つ。職業別では、主婦が高いのに対し、学生の四割近くが「投票しなかった」と答えている。候補者の選び方では、「支持する政党候補者・推薦者」が28%、以下「自分の関係する団体・職場・後援会の推薦」17.9%、「前からよい人だと考えていた」15.7%、「同じ地区に住んでいる」10.7%の順になっている。

新たに付託されたもの
企画総務常任委員会へ付託 二件
区内私立幼稚園の父兄負担軽減に関する請願
朝鮮半島の自主的平和統一の実現に関する意見書の採択を求める請願
区民厚生常任委員会へ付託 一件
老人大学大学院設置に関する請願
環境衛生常任委員会へ付託 二件
代々木病院看護婦寮内診療所設置反対に関する請願(桜丘四丁目7)
環状八号線三本杉陸橋防音壁設置に関する請願
建設常任委員会へ付託 十二件
失対就労者の年末手当等に関する請願
失対就労者年末手当等に関する請願 二件
マンション建設反対に関する請願(上北沢四丁目10)
大東学園の校舎建築工事反対に関する請願

今年「選挙公報」を発行

今年定例会で、区長・区議会議員選挙の選挙公報発行が条例化された。前回のときは、区議選挙で公報を発行した区は一つもなかった。世論調査でも、公報が必要と答えた人が85.4%もあり、棄権した人の理由にも「候補者を知らないから」が14.7%を占めている。
私たちの生活に最も身近な区議会の代表を選ぶため、区民のみなさんで「区議選」に関心を持って、さらに世田谷区を発展させようではありませんか。

議員の住所変更

平山八郎(議長・自民)
新任所 祖師谷五丁目3-2



編集後記

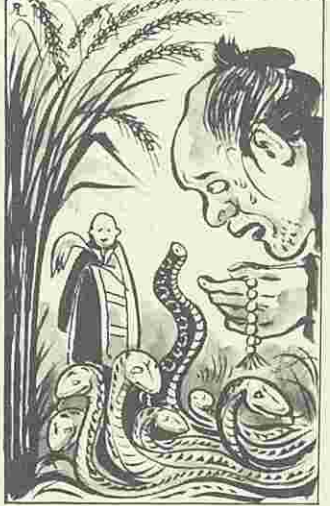
数多い議会での質疑応答などを、短い編集期間でどうまとめたか。編集部スタッフ全員が一生涯「決算特号」に取り組みました。
少しでもみなさんに区政・区議を理解していただければ、この苦勞も大いに報われます。
今年の区議・区長選では、「選挙公報」をじっくりご覧になって、ぜひ投票してください。
○次号も八ページで、予算議会、のちようをお届けします。お問合せなどは、区議会事務局(412)一一一、内線501-508までどうぞ。

せたがやの民話と伝説

文・桜井正信
絵・阿伊染徳美

くびなし蛇のものごと

秋も終わりになって、日さしも短くなってきました。
千歳船橋の田圃のイネは、こどもも豊作で、ほとんど刈り取られていました。でも、吉助の田圃につくところだけはこれからは刈り入れでした。
吉助は、この日も一人、イネ刈りに精をだしていました。ところが、この日はどうしたか、吉助が刈りすすむイネの株のところには蛇がいるのです。吉助はなんとも蛇を追うのですが、一匹だけなかなか逃げようとしません。吉助は、仕事のじゃまになるので、つい鎌で蛇をどかそうとしたはずみに、蛇のくびを切ってしまった。
蛇の血は、イネ株をとりまくように、真赤なようにそめだしました。あたり



は青くさくさたよいました。吉助はそのにおいで頭がいたくなり、仕事をやめて田圃からあせに上がりました。すると、いままで吉助が刈り取ったイネの切株のところに、どこから集まってきたのか、大小さまざまな蛇がウヨウヨいるのです。吉助はそれを見ると、身ぶるいて家にとんで帰りました。
吉助が鎌でまちがって切った蛇は、母親の蛇でした。母蛇は、冬になるので子蛇たちを蛇穴に入れて冬眠させるため、はぐれた子どもたちを呼びよせたときの災難だったのです。こんどは逆に、子蛇たちが母親をさがしに、吉助の田圃に勢ぞろいしてきたのです。
吉助が、家でこの日の話をしていると、奥の間から冷たい風が吹いてきました。家族の者がそれとなく見ると、くびなし蛇に連れられた仲間の蛇や子蛇たちがどろどろをまいていました。
吉助は相談して、さっそく名主に蛇のことをとどけました。名主は、お坊さんを連れてきて、すぐに親蛇の供養をしました。それからは、毎年吉助の家では蛇の供養をしたといひます。(終)

執筆=さくらい・まさのぶ
駒沢大学教授/歴史地理学/「歴史と風土・武蔵野」/「減りゆく武蔵野」など著書多数/三軒茶屋一丁目在住
さし絵=あいせん・とくみ
国画会会員/思想の科学研究会会長/文化庁現代日本作家展などに出品・活躍中/著書「わがゆかし念仏」

編集後記(続き)
執筆者から「お礼のことば」
私のつたない文章で、世田谷の民話を書かせていただきました。思えば五年にわたる続きものでしたが、うまく綴れなかったのが心残りです。民話と伝説ということでしたが、なかなか区別